

朝の館内放送

令和3年11月1日

おはようございます、市長の中村健です。

今日は、情報伝達について話をします。

情報発信ではなく、情報伝達とするのは、伝えることではなく、伝わることに意義があると考えからです。

西尾市では、情報伝達の強化の一環として、昨年の8月からLINE公式アカウントの運用を開始し、現在の登録者数は9万人を超えます。

全体の登録者数も、人口あたりの登録者数も、愛知県内でトップです。

10万人を突破した際には、お祝いのキャンペーンを行うことも考えています。

LINE公式アカウントについては、この1年あまり試行錯誤を続ける中で、リッチテキストを使用してお知らせであったり、個々のお知らせをする際の言葉の使い方であったり、かなり洗練した伝え方ができるようになってきたと感じています。

実際に、登録者の方々からも、西尾市のLINE公式アカウントは分かりやすくていいよね、ほしい情報が入ってくるのでありがたいよねという声をたくさん聞いています。

今後、デジタルトランスフォーメーションを進め、各種行政手続きのオンライン化に対応させていく際に、入り口となる LINE 公式アカウントの登録者数が多いことは、大きな武器になると考えています。

この武器を積極的に活用していけるよう、関係各課の協力を改めてお願いします。

また、10月からは、名鉄グループとタイアップした観光キャンペーンを実施しています。

先週まで西尾市を取り上げていたゴリ夢中をはじめ、いくつかのテレビ番組の放送枠の中で、EMOTION!という名鉄の企業広告を放送し、西尾市のPRに一役買っていていただいております。

EMOTION!については、名鉄名古屋駅構内でも大きな広告看板を設置していただいております、反響も大きいと感じています。

西尾市独自の情報伝達手段を磨いていくとともに、官民連携を進めていく中で、企業の広報力を活用させていただくことにも力を入れていきたいと思っております。

なお、名鉄の高崎社長とは、先日懇談させていただき、地域活性化のために力を合わせていきたいと思いますという事で考えが一致しました。

名鉄グループは、鉄道部門以外にも、旅行部門や不動産部門などの様々な部門を有しているので、広くまちづくりの視点で連携を深めていければと考えてい

ます。

情報伝達は、行政への住民満足度を上げるための重要な手段でもあります。

常に創意工夫する姿勢を持ちながら、ワクワクできる話題を一つでも多く提供していきましょう。

以上で、朝の館内放送を終わります。